

解析学 IV の追試結果について

1996 年 12 月 18 日
河東泰之

配点は、1 番から順に、20, 20, 20, 25, 25, 30 点で合計 140 点満点です。最高点は 100 点、平均点は 36.9 点、得点の分布は次のとおりです。

| | | | | | | | | |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 0-29 (点) | 30-39 | 40-49 | 50-59 | 60-69 | 70-79 | 80-89 | 90-99 | 100- |
| 9(人) | 2 | 0 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 1 |

50 点以上が合格で C がつきます。合格者は 17 人中 6 人で、その学生証番号は次のとおりです。

60509, 60518, 60521, 60524, 60527, 60538

答案は事務室で返却します。各問のごく簡単な解説をつけます。

- [1] もちろん全然言えません。
- [2] Lebesgue の収束定理で一発。
- [3] 可測関数列の極限が可測であることを使えばよい。
- [4] x^t の形の関数で t を適当に選べばよい。
- [5] $f(x-y)g(y)$ のところを $f(y)g(x-y)$ と書き直せば、普通の積分記号下の微分です。
- [6] 5/28 の授業でやった $p=1$ の場合を真似すればできます。

解析学特別演習 I・レポート問題について

1996 年 12 月 18 日
河東泰之

解析学 IV の追試の結果については今日発表しましたが、解析学特別演習 I の単位を落としている人に対するレポート提出について説明します。

まず、前から掲示しているように、このレポート提出の資格があるのは、本試験または追試験で解析学 IV の単位を取っている人だけです。それ以外の人には来年度また解析学 IV とともに、解析学特別演習を履修してください。担当は来年も私です。

解析学 IV の単位を取っているが、解析学特別演習の単位がまだついていないという人は、事務室でレポート問題を受け取り、1 月 10 日までにレポートを事務室に提出してください。成績はその後すみやかに掲示します。